

第14回災害対策本部会議における知事コメント

地震発生から1週間が経過しました。

お亡くなりになられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、その御家族、そして被災されたすべての皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

未だに余震活動が続いておりますので、気象台からも、もう1週間程度注意が必要との見通しが示されました。県民の皆様におかれましては、引き続き地震への警戒が必要です。

先ほど、被災市町の首長の皆さまからのご発言がありましたとおり、被災された方々の生活を支えるうえで、重要となるのが「水」です。被害が甚大な地域では、まだ断水が続いており、上下水道の復旧が最重要事項となっています。

そのような中、先ほど国土交通省から、すべての地区において、8月末までには上下水道の応急復旧が完了する見込みであるという御説明をいただきました。

猛暑が続く中での復旧作業は大変な負担が伴います。国土交通省をはじめ、迅速な復旧活動に御尽力いただいている関係機関の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。8月末に向けて一緒に頑張っていきたいと思います。

また、昨日から受付を開始したホテル避難については、本日14時時点で289件の申込みがあり、対象施設も114施設に増加しています。引き続き、喫緊の課題である「熱中症」対策の一つとしてとして、ホテル避難の呼びかけを積極的に行って参ります。

さらに、先ほど「はくおうⅡ」において、明日午後、入浴支援と冷房の効いた休憩箇所の提供開始する予定とのご報告がありました。迅速にご対応いただいた防衛省の皆さまに感謝申し上げます。被災された方々の癒しの場になると思いますので、御準備のほど、よろしく願います。

そして、昨日、高市総理と意見交換を行いました。本日、政府において、242億円の予備費を閣議決定していただきました。また、激甚災害（本激）及び特定非常災害に指定する見込みであることも発表いただき、迅速な対応に感謝申し上げます。被災地として大変ありがたく、私たちも躊躇なく、復旧・復興に取り組んで参ります。

農業分野でも昨年8月の水害で大活躍してくれた品目別対策PT等が設置されました。農家の皆様に寄り添ったきめ細かな対応を期待しています。

発災から1週間が経ちましたが、連日、猛暑が続いています。被災者の熱中症対策はもちろんですが、支援や復旧活動を行う職員の対策も、真剣に考えなければなりません。今後、住家被害認定調査や保健師チームによる現地でのサポート活動なども本格化していきますので、しっかりと熱中症対策を講じたうえでの活動をお願いします。

引き続き、国、県、市町村、関係機関が一つのチームとなって、復旧から復興への歩みを着実に前へ進めていきましょう。よろしくお願いします。